


2021年3月期 第2四半期決算概要



日進工具株式会社

2020年10月30日
(証券コード6157)

目次

2021年3月期2Qの業績

P. 3	・・・	第2四半期決算（累計）の概要
P. 4	・・・	営業利益の減益要因
P. 5	・・・	損益計算書サマリー
P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
P. 7	・・・	四半期業績推移

2021年3月期の業績予想

P. 14	・・・	業績予想
P. 15	・・・	上期実績と下期予想
P. 16	・・・	設備投資と減価償却費のトレンド
P. 17	・・・	配当予想

参考資料

P. 19	・・・	過去5年間の業績と主要データ推移
P. 20	・・・	投資指標
P. 21	・・・	株価推移とバリュエーション
P. 22	・・・	I R 情報サイトのご案内

2021年3月期 第2四半期の業績



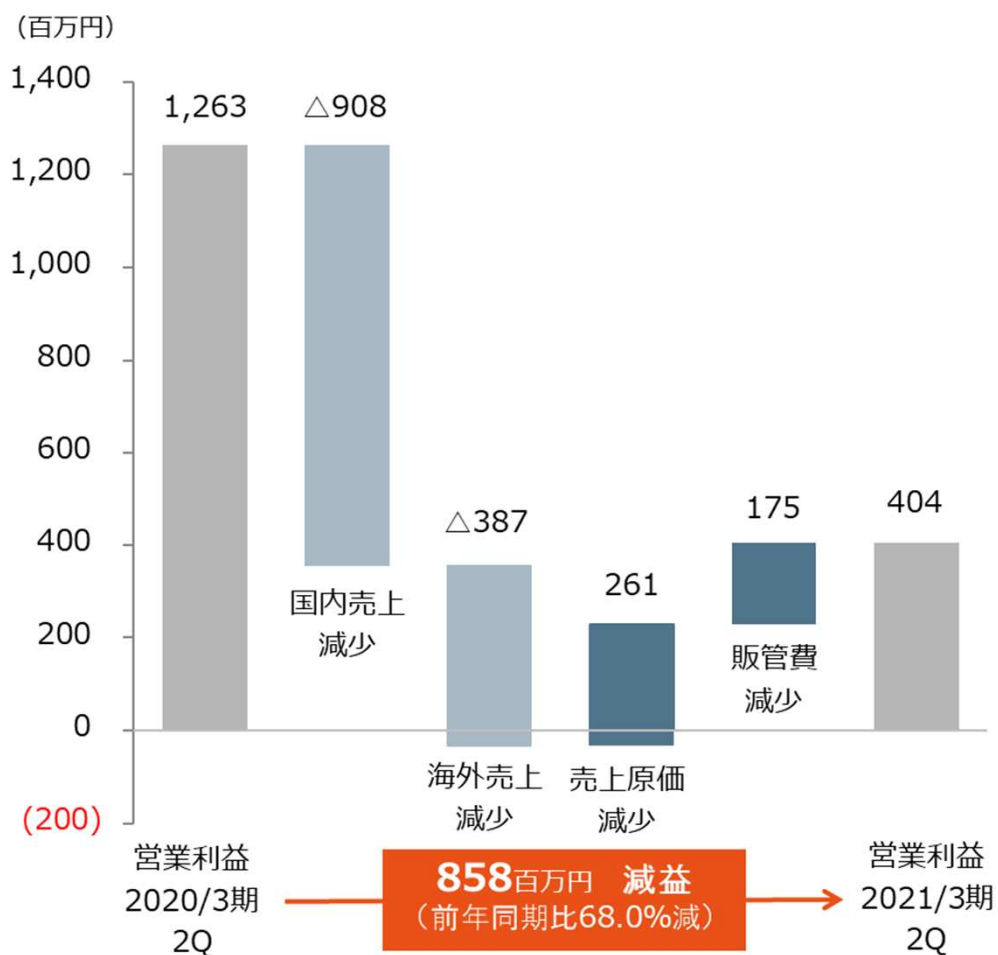
第2四半期決算（累計）の概要

需要減少の底は打ったものの回復は限定的

（単位：百万円）	2020年3月期	2021年3月期	2021年3月期	達成率
	2Q累計	2Q累計	上期当初予想	
売上高	4,932	3,635	3,600	101.0%
前年同期比	-6.0%	-26.3%	-27.0%	
営業利益	1,263	404	280	144.3%
前年同期比	-13.6%	-68.0%	-77.8%	
経常利益	1,265	444	285	155.8%
前年同期比	-13.8%	-64.9%	-77.5%	
四半期純利益	832	275	163	168.8%
前年同期比	-14.4%	-67.0%	-80.4%	

- 各国での新型コロナウイルスの感染拡大による渡航禁止や都市封鎖等から世界的に経済活動が停滞し、製造業も大きな影響を受けた。5月を底に徐々に生産活動も回復傾向となったが、感染の再拡大もあり回復は限定的。
- 工具需要も底を打ったと思われるが、流通段階での在庫圧縮等もあり売上高の戻りは鈍い状況。
- 連結売上高は3,635百万円（前年同期比26.3%減）、連結経常利益は444百万円（同64.9%減）。
- 売上高経常利益率は12.2%となり、前年同期を13.5ポイント下回った。
- 上期当初業績予想に対する達成率は、売上高が101.0%、経常利益は赤字を見込んでいた7-9月期が黒字となったことから155.8%。

営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前年同期比26.7% 908百万円の減少、海外が同25.4% 387百万円の減少となり、売上高全体では同26.3% 1,296百万円減少した。
- 製造原価に占める固定費の割合が高いことに加え、前期末に比べ製品在庫を111百万円削減したことから、売上原価は同12.1% 261百万円の減少に止まった。
- 販管費は新開発センターの稼働による減価償却費の増加や不動産取得税の発生があったものの、展示会費や広告宣伝費等が減少したことにより、同11.7% 175百万円減少。
- これらの結果、営業利益は同68.0% 858百万円減少の404百万円。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
売上高	4,932	3,635	-26.3%
売上総利益 対売上高比率	2,770 56.2%	1,735 47.7%	-37.4%
販管費 対売上高比率	1,507 30.6%	1,331 36.6%	-11.7%
営業利益 対売上高比率	1,263 25.6%	404 11.1%	-68.0%
経常利益 対売上高比率	1,265 25.7%	444 12.2%	-64.9%
四半期純利益 対売上高比率	832 16.9%	275 7.6%	-67.0%
設備投資額	958	150	-84.3%
減価償却費	335	352	+5.2%
従業員数(人)	337	344	+2.1%

- 売上高は3,635百万円と前年同期比26.3%の減収。多くの製造業で底は打ったと思われるものの、依然コロナ前の水準には戻らず、当社グループ製品も流通段階での在庫圧縮も加わり厳しい状況が続いた。
- 売上高の減少とそれに伴う生産の抑制や製品在庫の削減により原価率が上昇、売上総利益は1,735百万円と同37.4%の減少。売上総利益率は同8.5ポイント低下し47.7%。
- 販管費は人件費が同6.9%減少、一般経費が同17.3%減少し、全体で同11.7%の減少。それでも売上高の減少が大きく、売上高販管費比率は36.6%と同6.0ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同68.0%減の404百万円、売上高営業利益率は11.1%と同14.5ポイント低下。
- 設備投資額は、前年同期にあった新開発センターの建設費等が無くなり、同84.3%減の150百万円。減価償却費は同開発センター等の償却が加わり5.2%増の352百万円。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2020年 3月期末	構成比	2021年 3月期2Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
流動資産	9,555	59.7%	9,383	60.4%	-1.8%
現金及び預金	5,784	36.1%	6,221	40.1%	+7.6%
受取手形及び売掛金	1,366	8.5%	1,027	6.6%	-24.8%
棚卸資産	2,201	13.7%	2,025	13.0%	-8.0%
固定資産	6,462	40.3%	6,145	39.6%	-4.9%
有形固定資産	5,748	35.9%	5,458	35.2%	-5.0%
無形固定資産	52	0.3%	37	0.2%	-28.3%
投資その他の資産	661	4.1%	648	4.2%	-1.9%
資産合計	16,017	100.0%	15,528	100.0%	-3.1%
(負債の部)					
流動負債	1,265	7.9%	754	4.9%	-40.4%
買掛金	208	1.3%	100	0.6%	-51.9%
固定負債	254	1.6%	254	1.6%	-0.2%
負債合計	1,519	9.5%	1,008	6.5%	-33.7%
(純資産の部)					
自己資本合計	14,374	89.7%	14,336	92.3%	-0.3%
純資産合計	14,498	90.5%	14,520	93.5%	+0.2%
負債・純資産合計	16,017	100.0%	15,528	100.0%	-3.1%

流動資産

売上高の減少により売掛金が減少したこと等から前期末比1.8%減少。

固定資産

大きな設備投資も無く減価償却費が上回り、同4.9%減少。

負債

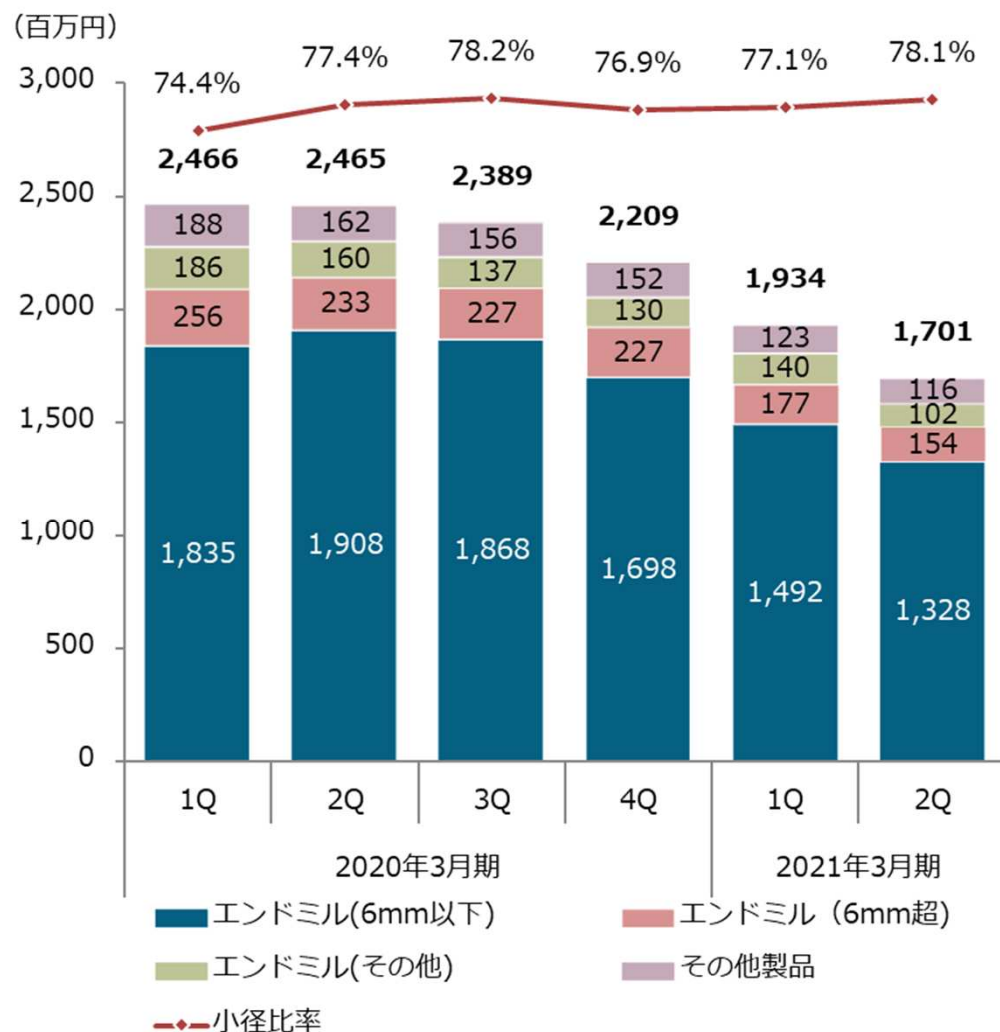
未払法人税等や役員賞与引当金の減少等により、同33.7%の減少。

純資産

利益剰余金の増加や配当金の支払い等から同0.2%増加。負債の減少もあり自己資本比率は同92.3%と2.6ポイント上昇。

四半期業績推移（売上高の推移 製品別）

製品別売上高と小径比率の推移

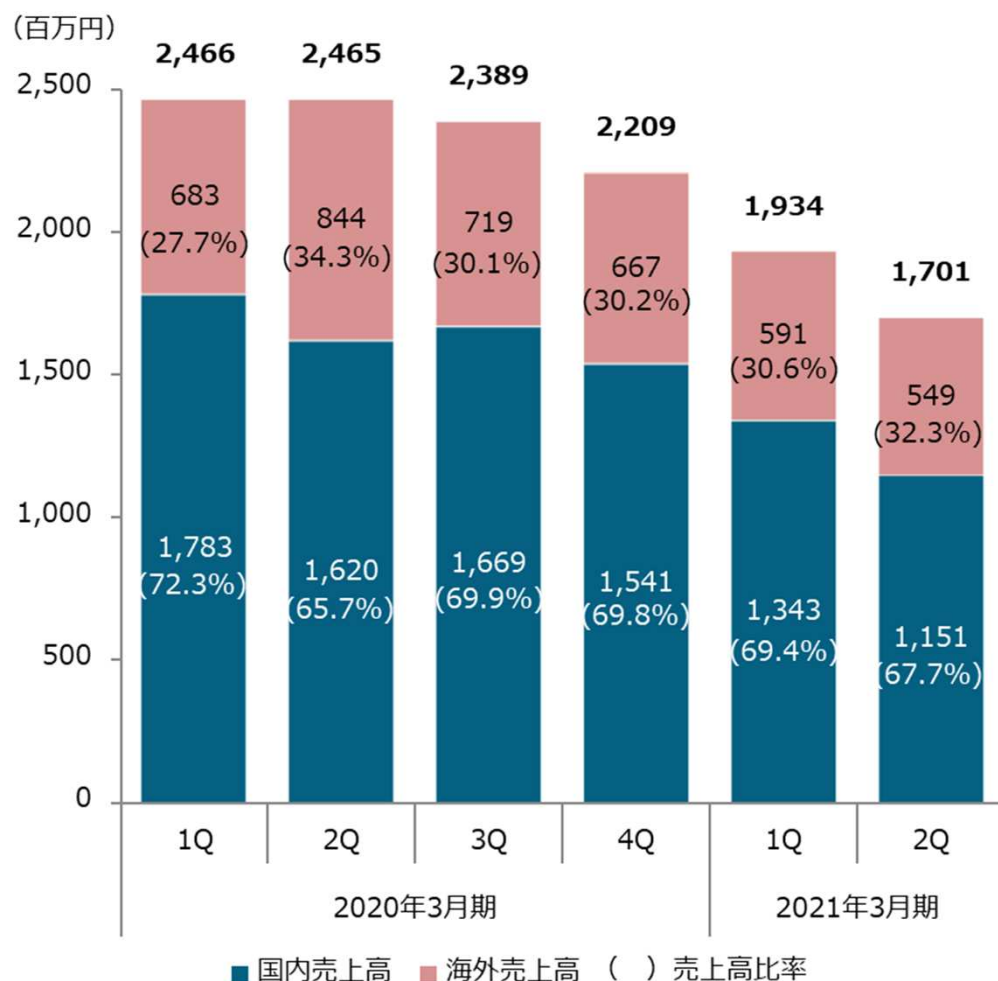


■ 国内自動車生産台数は5月を底に回復傾向となったものの前年の8割程度の水準、また多くの製造業で夏季休暇の延長等により稼働を落としたことから工具需要が減少し、当社グループ製品の流通段階での在庫圧縮も加わったことから、連結四半期売上高は1,701百万円と前年同期比31.0%の減少、前四半期比でも12.1%の減少となった。

■ 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）が前年同期比30.4%減少したほか、エンドミル（6mm超）も同34.1%の減少。またユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同36.3%減少し、工具ケース等のその他は同28.2%の減少であった。全体的に減少したため、小径比率は同0.7ポイント上昇の78.1%とほぼ変化は無かった。

四半期業績推移（売上高の推移 国内・海外）

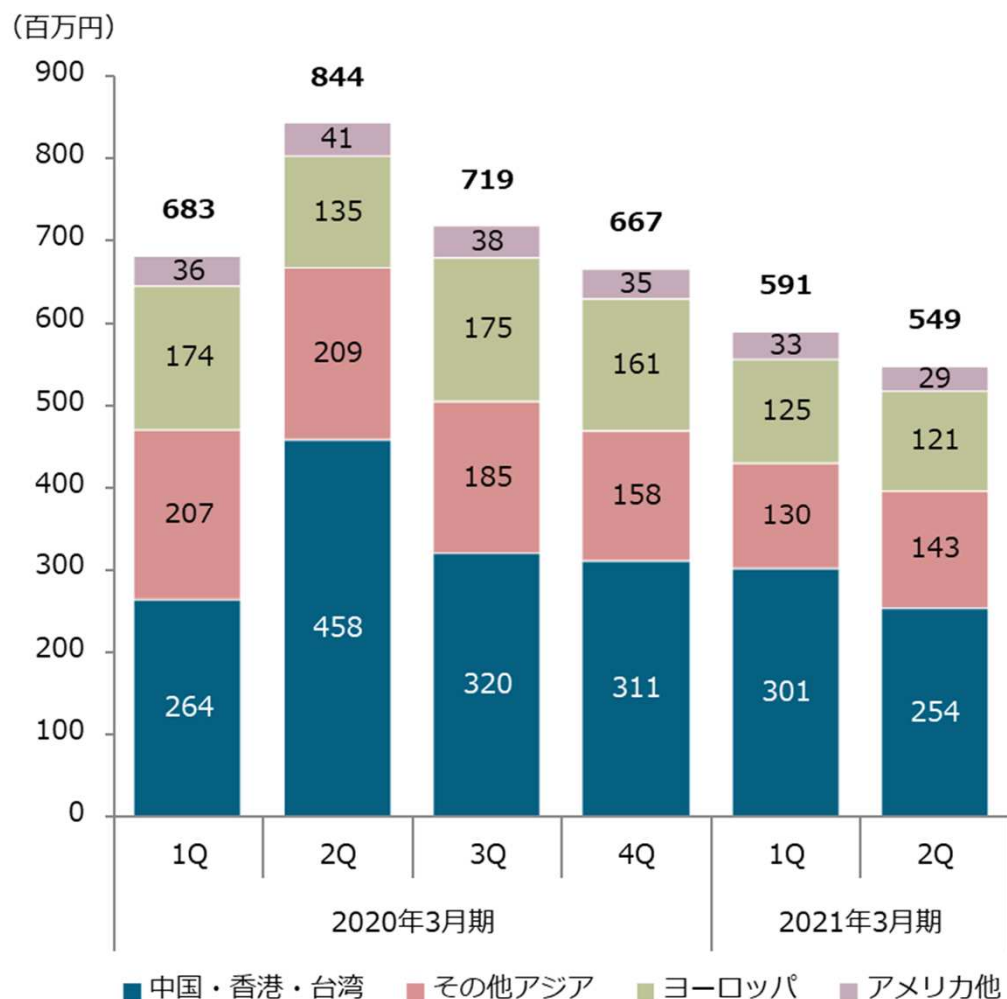
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期の水準から28.9% 468百万円減少し1,151百万円、海外売上高は同35.0% 295百万円減少し549百万円であった。
- いずれも前年同期を下回り、海外売上高比率は32.3%、前年同期が中華圏向けの好調により高水準であったことから、2.0ポイントの低下となった。

四半期業績推移（売上高の推移 海外地域別）

海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比44.5%の減少、日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は4-6月分となるが、前年同期が458百万円と非常に大きかったことから半減となった。
- その他アジアは同31.8%の減少、この地域では日系企業の現地工場が多く、国内同様に影響を受けた。
- ヨーロッパではコロナ禍でも比較的影響の少なかった医療機器や日用品・雑貨関連のユーザーもあり、同10.0%の減少に止まった。
- アメリカ他は同27.3%の減少だが、絶対額が少なく全体への影響は軽微。

四半期業績推移（売上総利益の推移）

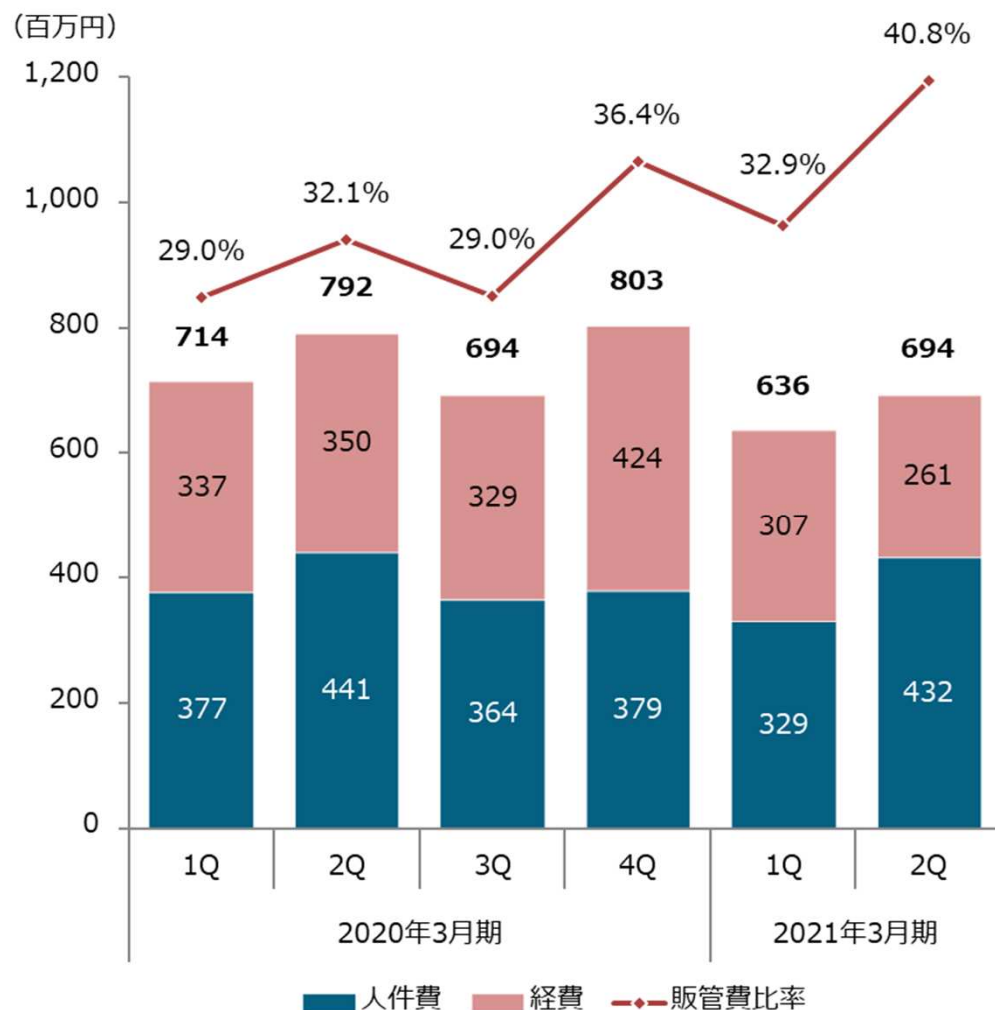
売上総利益と売上総利益率の推移



- 売上高の減少と在庫削減への対応により、生産量を抑えたことから、材料費が前年同期比46.2%減、外注加工費が同45.3%減と変動費は減少したが、労務費は同10.2%減、製造経費は同12.0%減に止まり、当期製品製造原価は同28.2%の減少となった。加えて、前年同期は製品在庫が37百万円の増加であったが、当期は211百万円の減少となったため、売上原価の減少が17.8%に止まった。
- これにより売上総利益は同42.7%減の746百万円、売上総利益率は43.9%と同9.0ポイント低下した。

四半期業績推移（販管費の推移）

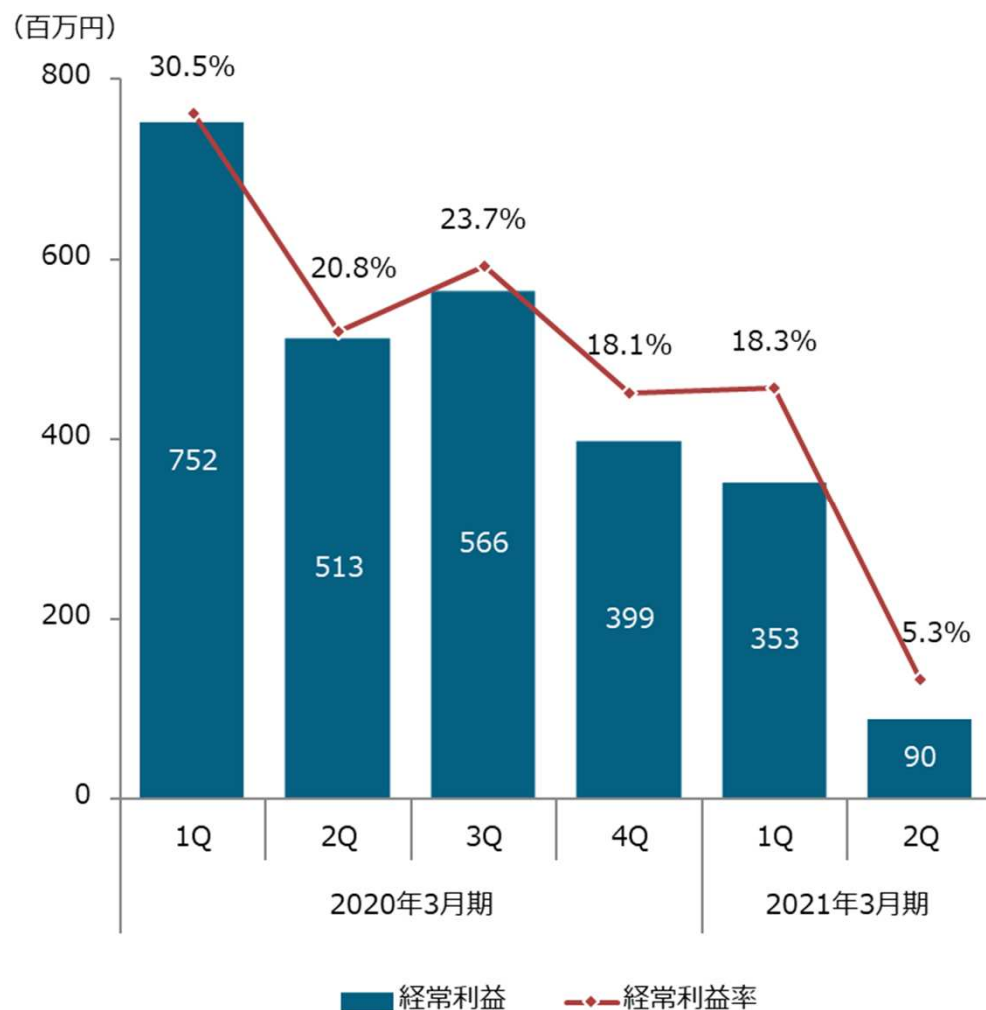
販管費と販管費比率の推移



- 販管費のうち一般経費は、新開発センターの稼働により減価償却費が増えたものの、展示会の中止や出張・営業活動の自粛等から、展示会費や広告宣伝費、また旅費交通費や交際費等が減少したことから、前年同期比25.4%減の261百万円。
- 人件費では、株式報酬費用が毎年7月に計上されることに加え、第2四半期の利益水準が想定を上回ったことにより賞与引当額の積み増しが必要となったこと等から、432百万円と同2.1%の減少に止まった。
- 販管費全体では同12.4%減の694百万円となったが、売上高の減少が大きく、売上高販管費比率は40.8%と同8.7ポイント上昇。

四半期業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 前年同期比31.0%の減収となったことに加え、原価率や販管費比率が上昇したため、営業利益は同89.8%減の52百万円と大きく減少。
- 営業外損益では、一時帰休に伴う雇用調整助成金等による39百万円の営業外収入と、為替差損等による1百万円の営業外費用の計上があり、経常利益は同82.4%減の90百万円。
- 売上高経常利益率は5.3%と非常に厳しい水準であった。

2021年3月期の業績予想



業績予想

(単位：百万円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,531	7,410	-22.3%
営業利益	2,219	850	-61.7%
経常利益	2,231	1,025	-54.1%
当期純利益	1,545	700	-54.7%
設備投資額	1,755	357	-79.6%
減価償却費	698	714	+2.3%
EPS (円)	123.62	55.98	-54.7%
1株当たり配当金 (円)	45.00	25.00	-44.4%

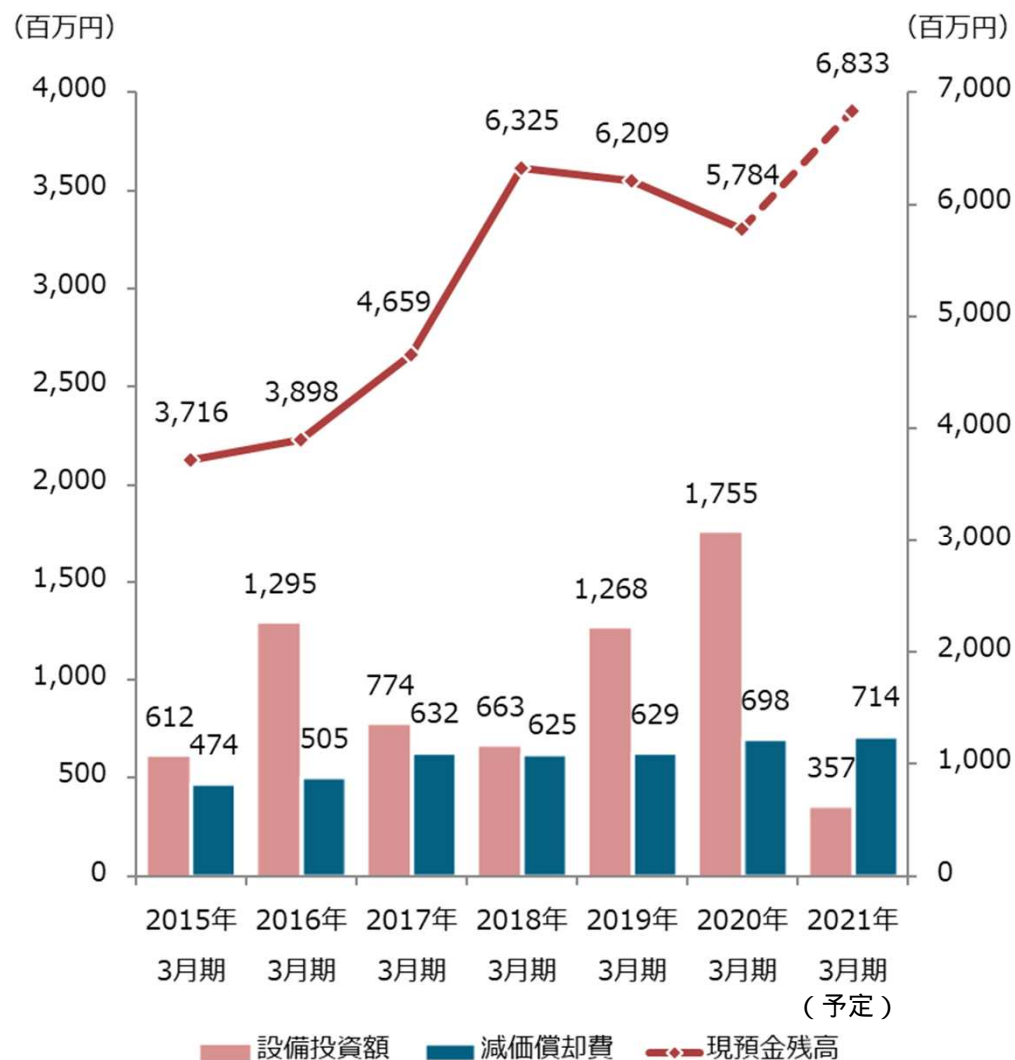
- 5G対応スマートフォンの拡大等が期待される一方、新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されるなか消費や経済が停滞する可能性が高いことに加え、米中対立の激化に伴う世界貿易への影響も世界経済に悪影響を及ぼし、5月のような急激な落ち込みは無いにしても、製造業全体としては当面厳しい状態が続き、工具需要も回復が遅れるものと想定。
- 設備投資は、自動化等、製品品質や生産効率の向上を図る機械設備の導入が中心。20年3月期は新開発センターの竣工等から多額となった。当期は一部設備の導入を次期に繰越したことから当初計画に比べ減少。
- 1株当たり期末配当については、業績予想に鑑み15円を予定。中間配当との合計では、昨年度の45円から25円へ減少。なお業績予想に対する配当性向は44.7%となり、昨年度実績の36.4%から8.3ポイント上昇。

上期実績と下期予想

(単位：百万円)	2021年3月期					
	上期実績	売上比	下期予想	売上比	通期予想	売上比
売上高	3,635	-	3,774	-	7,410	-
前年同期比	-26.3%		-17.9%		-22.3%	
営業利益	404	11.1%	445	11.8%	850	11.5%
前年同期比	-68.0%		-53.4%		-61.7%	
経常利益	444	12.2%	580	15.4%	1,025	13.8%
前年同期比	-64.9%		-39.9%		-54.1%	
当期純利益	275	7.6%	424	11.3%	700	9.4%
前年同期比	-67.0%		-40.4%		-54.7%	

設備投資と減価償却費のトレンド

設備投資、減価償却費及び現預金残高の推移



(左軸：設備投資額・減価償却費、右軸：現預金残高)

設備投資増減要因

2016年3月期

工場増設と機械設備の前倒し導入により年度設備投資額が増加。

2019年3月期

継続的な生産設備の拡充のほか、新開発センター着工による建設仮勘定により増加。

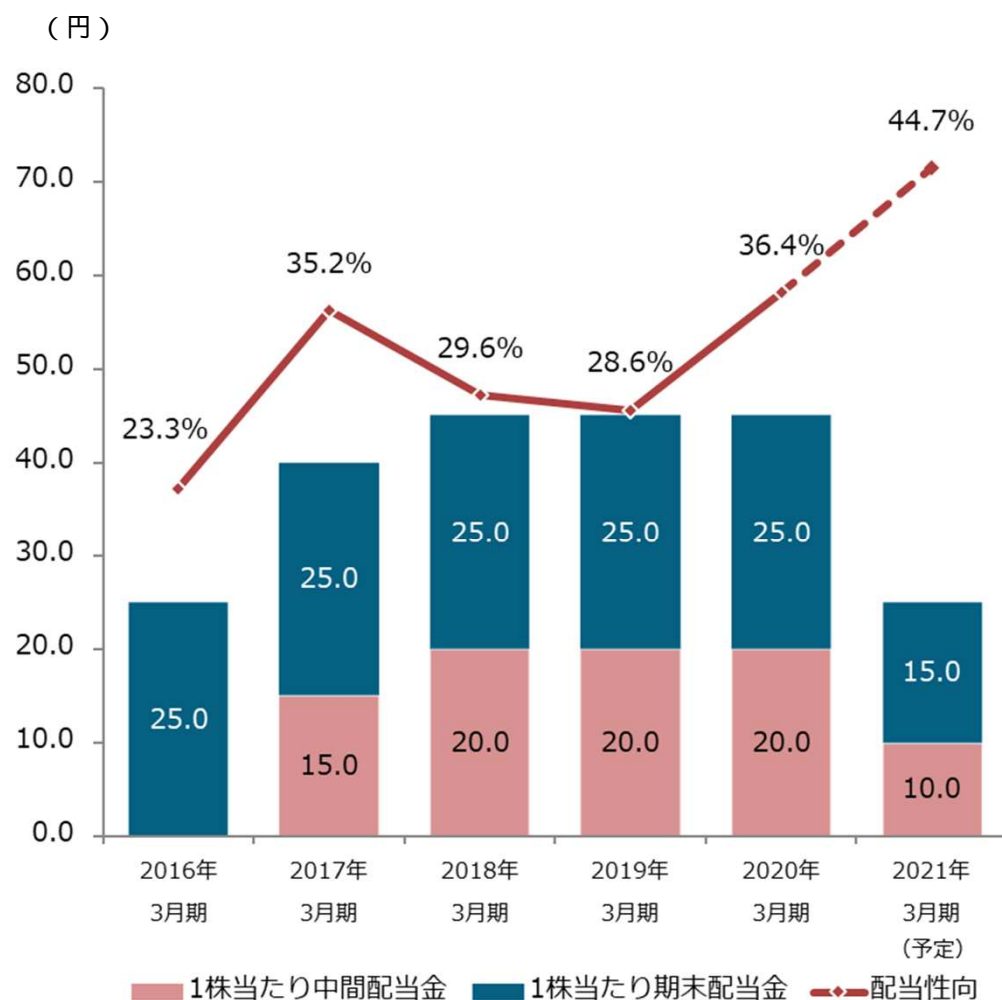
2020年3月期

新開発センターの竣工や開発関連設備の導入、子会社工場の新棟建設及び継続的な生産設備の更新等により増加。

2021年3月期計画

稼働率の低下もあり、一部設備の導入を次期に繰越したことから当初計画に比べ減少。

配当予想（株主還元について）



2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

業績に応じた利益還元

- ・ 2020年3月期の1株当たり年間配当金は45円。
中間配当20円、期末配当25円
配当性向は36.4%
- ・ 2021年3月期の1株当たり年間配当金は25円を予定。
中間配当10円、期末配当15円
業績予想に対する配当性向は44.7%
- ・ 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を保有する株主様を対象に
オリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を
追加で贈呈。

參考資料



過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績
売上高	8,382	8,825	9,767	10,476	9,531
営業利益	1,914	2,013	2,695	2,879	2,219
営業利益率	22.8%	22.8%	27.6%	27.5%	23.3%
経常利益	1,954	2,026	2,733	2,894	2,231
経常利益率	23.3%	23.0%	28.0%	27.6%	23.4%
当期純利益	1,342	1,420	1,903	1,970	1,545
当期純利益率	16.0%	16.1%	19.5%	18.8%	16.2%
有利子負債額					
純資産額	9,569	10,666	12,002	13,461	14,498
総資産額	11,371	12,517	14,467	15,381	16,017
自己資本比率	84.2%	85.2%	83.0%	87.1%	89.7%
設備投資額	1,295	774	663	1,268	1,755
減価償却費	505	632	625	629	698
1株当たり配当金(円)	25.00	40.00	45.00	45.00	45.00
従業員数(人)	280	322	338	343	338

2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

投資指標

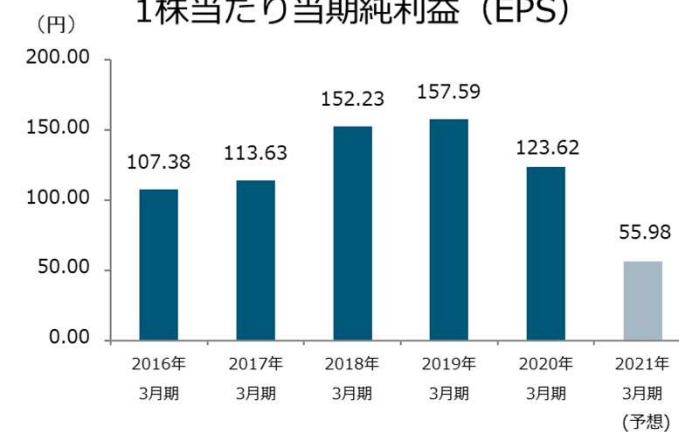
売上高経常利益率



株主資本当期純利益率 (ROE)



1株当たり当期純利益 (EPS)



株価収益率 (PER)



株価純資産倍率 (PBR)



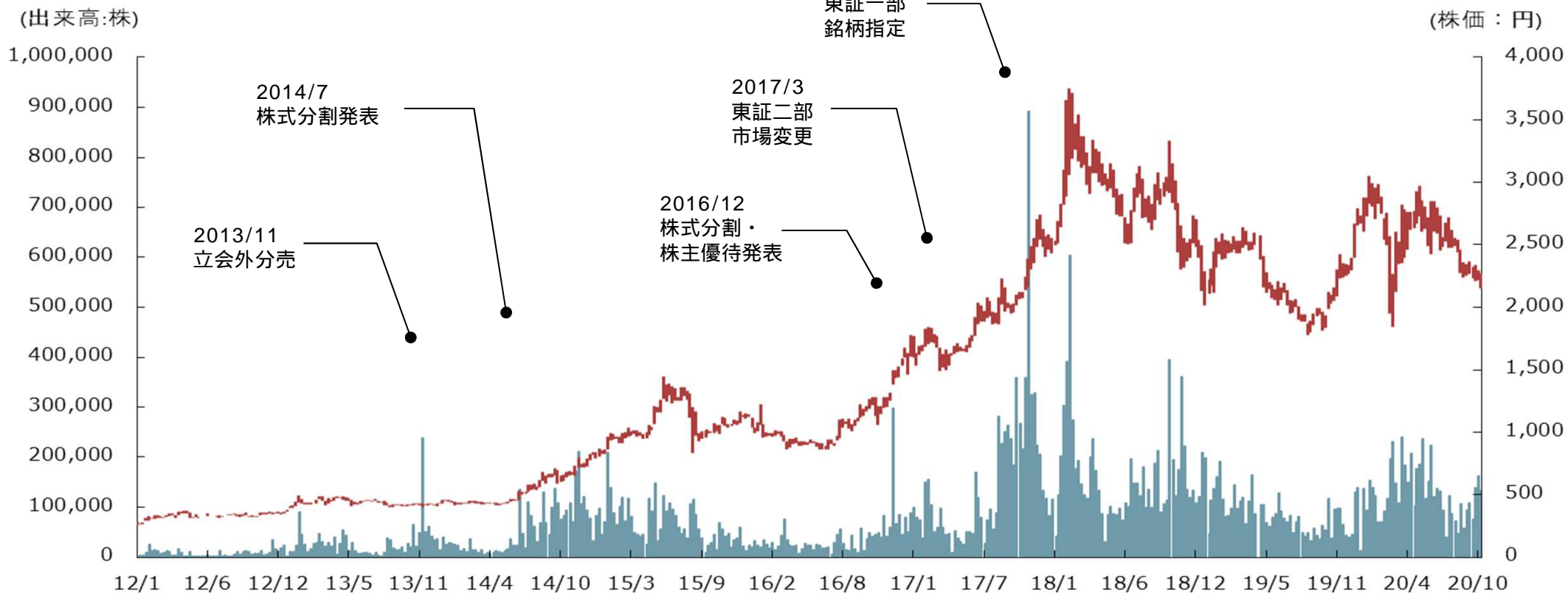
時価総額 (3月末時点)



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2020年10月）



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2020年10月29日現在）

売買単位	100株
時価総額	282億円
ROE (20/3期実績)	11.1%

単元株価格	22万5,700円
PER (21/3期予想)	40.32倍
PBR (20/3期実績)	1.96倍

IR情報サイトのご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR Information website. The top navigation bar includes links for 'お知らせ', 'お問い合わせ', 'サイトマップ', and 'English'. Below this is a secondary navigation bar with categories: '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). The main content area is titled 'Investor Relations' and 'IR情報' (東証一部 コード: 6157). It features three main sections: 'IRトピックス', 'IRニュース', and a right-hand 'IR情報' sidebar. The 'IRトピックス' section lists recent reports with dates and PDF links. The 'IRニュース' section lists news items. The sidebar contains a 'IR情報' menu with items like 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', and various financial and operational reports, with the current page highlighted in orange.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員	経営企画室長	田島	寛
管理部	経理課課長	今関	弘毅
管理部	I R 担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。